

令和6年度 渋谷区立小・中学校合同展覧会 富谷小学校児童の作品

日時 令和7年2月22日(土)～2月28日(金)午前10時～午後4時

場所 渋谷区役所15階 スペース428

●本校では、この題材の中から出品しています。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	いずみ学級
平面作品	<p>【ぼく・わたしの花】 クレパスを握ってぎゅっぎゅっと紙に色を塗ったりきれいな模様をつくったりしました。その紙を自分の思いのままに切り、大きな画用紙にのせるとあら不思議、すてきなお花になりました。茎と葉っぱを描いて仕上げました。背景は、絵の具を使ったグラデーションで描きました。</p>	<p>【いろいろもよう】 絵の具のシャボン液を使って泡の模様を表現しました。できた模様を海中の世界に見立て、海の世界にあったらいいなと思う生き物を画用紙で作りました。海の生き物を画用紙の好きなところに貼り、すてきに仕上げました。</p>	<p>【うつつてふえるよ でこぼこさん】 (紙版画) 「でこぼこさん」が活躍する紙版画です。いろいろな形の厚紙などを貼って型紙をつくりました。刷った「でこぼこさん」を着色した画用紙に貼ってすてきに仕上げました。</p>	<p>【木々を見つめて】 校庭で「MY 木」を選んでじっくり見つめたり、想像を膨らませながら描いたり…。墨や絵の具のタッチを生かして着色しました。 【ほって表す不思議な花】 (木版画) 花の形や咲く場所、花のもつパワーなど想像を巡らせて…不思議な花を彫刻刀で彫りました。着色した版画用紙にインクを付けて、丁寧に刷りました。</p>	<p>【色を重ねて、広がる形】 (木版画) 下絵を描かないで線を彫ってインクを付けすぎないように注意して刷りました。線を生かした模様を考え、彫っては刷り彫っては刷りを繰り返しました。色が重なる度に、ドキドキワクワク。思いがけない形と色との出会いを楽しみました。</p>	<p>【ステンシルアート】 (ステンシル版画) 画用紙をカッターで丁寧に切って版をつくりつや紙に載せて絵の具を付けたスポンジで着色しました。絵の具を混ぜたり重ねたりすることで深みのある作品ができました。 【お気に入りの場所】 自分にとってなじみのある身近な風景から思い出の場所を選びました。その場所への気持ちが伝わるように表現方法を工夫しました</p>	<p>【ふしぎワールド?!】 画用紙に絵の具を付けたローラーを転がしてできた模様と、カットした段ボールに液体粘土を塗ってできたおもしろい形。それらの思いがけない形と色との出会いから、ふしぎワールドが生まれました。 みんなどのような世界をつくったのでしょうか？</p>
立体作品			<p>【のこぎりザクザ つないでつけて】 (木工作) のこぎりで板を切って組み合わせると何ができるかな。つくりたいものを考えて、いろいろな形の木ぎれを組み合わせました。丁寧に板を着色したり、たくさん切ってどんどん組み合わせたり、楽しみながらつくることができました。</p>	<p>【アハイヒワフエオホ】(粘土) 顔の形は？目は？飾りは？どんな形にしようかな。粘土で笑っている表情をつくりました。 【どろどろカッチン】 布を液体粘土にひたしてかわかすと、カチコチに固まります。固まった形を生かして思いついたものを工夫して表しました。 【つくって、つかって、たのしんで】(木工作) のこぎりで切ったカクカクの板。板の組み合わせから、新しい形が生まれることを楽しみながら、使ってもかざっても楽しめるものをつくりました。</p>	<p>【シーサーがいいさー】(粘土) 粘土の板を丸めたり飾りを付けたりして、オリジナルシーサーをつくりました。 【進め！糸のこたん検隊】 電動糸のこぎりを自由自在に操って板を切る活動を楽しみました。板の上を探検する様に切り進めたり気に入った形の板を組み合わせたりました。 【見つけてワイヤードリーム】 (工作) 針金を曲げたりねじったり組合せたりしてできる形から表したいことを考えイメージした世界を表しました。</p>	<p>【未来の自分】(粘土) 小学校生活最後の年を送っている6年生が、自分の将来について考えを巡らせました。針金を芯材にして紙粘土で人型をつくり、将来になりたい自分を表しました。粘土に絵の具を混ぜてカラフル粘土をつくり、動きのあるポーズや細部にこだわった粘土の表現を工夫しました。 【11・12才の力で】(木工作) 生活の中で役に立つ箱を自分らしい形や色でつくろう。使われる場面を思い浮かべながら、気に入るまで着色にもこだわってつくりました。</p>	<p>【はりこから、変身！】 風船を土台に、新聞紙や和紙を何重にも貼り合わせて、はりこをつくりました。そのはりこは、いったいどのような物に変身したのでしょうか？</p>